

# 川越比企保健医療圏「圏域別取組」関連施策推進状況調書

埼玉県地域保健医療計画(第7次)

令和2年10月

埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会

## 【目次】

### (取組項目)

1. 生活習慣の改善を含む健康づくり対策の推進・・・	1-1	～	1-17	頁
2. 歯科口腔保健対策.....	2-1	～	2-11	頁
3. 親と子の保健対策.....	3-1	～	3-13	頁
4. 健康危機管理体制の強化.....	4-1	～	4-14	頁
5. 精神保健福祉医療対策.....	5-1	～	5-12	頁
6. 在宅医療の推進.....	6-1	～	6-15	頁

### (実施機関の調書掲載の順序)

○ 保健所、市町村、医師会、歯科医師会、薬剤師会

取組項目 1. 生活習慣の改善を含む健康づくり対策の推進

目標 ライフステージに対応した多様な健康づくりを展開し、特に、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙等について、住民参加を基本に住民自らが生活習慣の改善に取り組める地域づくりを進めます。さらに、地区組織、ボランティア団体、大学等と協働し、地域全体で健康を支え合うことにより、健康長寿を目指します。

- 主な取組
- 健康づくりに関する知識の普及啓発
  - 地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進
  - 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防
  - ライフステージに対応した健康づくりを地域で進めるための人材育成

<説明>自己評価(主な取組状況・成果に対する評価。目標値が設定されている場合は、当該数値(推移)に対する評価をいう。) A:十分達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
1	坂戸保健所	1 地域・職域連携推進事業	市町職員等	■管内市町職員等との連携強化 ■保健指導実務者等のスキルアップ	■保健所管内健康課題対策会議の開催 1回 ・管内市町との連携が図られた。 ■保健指導実務者等へのスキルアップ講座の開催 3回 ・保健指導実務者等のスキルアップが図られた。	-	-	-	B	■関係者が連携して具体的な取組の実施にまで繋げていくことが重要。 ■協議会の効果的な運営体制の構築検討。 ■管内担当者との連携を密にし、地域の健康課題に対して継続して支援を行う。
2	坂戸保健所	2 生き生きと暮らすための社会環境の整備	県民	■健康長寿サポーターの養成者数の増加 <目標値>更なる増加(坂戸保健所管内)	■健康長寿サポーターの養成 ・養成講習 5回、養成人数 14人 ・「健康長寿サポーター」とは、自分の健康づくりに取り組むとともに、役に立つ健康情報を、家族、友人、周りの皆さまに広めていただく方 ・受講者には「健康長寿サポーター応援ブック(修了証)」を交付	113 (29年度末)	168	182	C	■住民が主体的に生活習慣の改善に取り組める地域づくりが重要。 ■健康づくりのイベントや研修会を実施する中で、積極的に「健康長寿サポーター養成講習」を行う。
3	坂戸保健所	3 受動喫煙防止対策	飲食店 娯楽施設 事業所など	■埼玉県受動喫煙防止対策実施施設の認証数の増加(新制度・R01.6開始) <目標値>300施設(坂戸保健所管内)	■埼玉県受動喫煙防止対策実施施設の認証 ・法律を上回る対策に取り組む施設等を認証し、これを広めていくことにより、実行性のある対策を推進。 ※健康増進法の一部改正に伴い2019年7月1日から病院・学校等が敷地内禁煙となり、2020年4月1日から飲食店等が原則屋内禁煙となった。 新たな認証制度を2019年6月1日開始。	-	-	88	C	■飲食店や事業所等とも連携し、地域全体で健康を支え合う体制づくりが必要。 ■食品営業許可更新説明会や食品衛生責任者実務講習会の機会を捉え、積極的に協力要請を行う。
4	東松山保健所	1 地域・職域連携推進事業	市町村等	■管内市町村職員等との連携強化 ■保健指導実務者等のスキルアップ	■保健所管内健康課題対策会議の開催 2回 ・管内市町村・事業所等との連携が図られた。 ■保健指導実務者等へのスキルアップ講座の開催 3回 ・保健指導実務者等のスキルアップが図られた。	-	-	-	B	■関係者が連携して具体的な取組の実施にまで繋げていくことが重要。 ■協議会の効果的な運営体制の構築検討。(坂戸保健所と要協議) ■管内担当者との連携を密にし、地域の健康課題や重症化予防に対して継続して支援を行う。 ■健診受診率の向上、より効果的な特定保健指導の実施等様々な課題に対し、その具体的な取組を支援していく方を講じていく必要がある。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
5	東松山保健所	2 生き生きと暮らすための社会環境の整備	県民市町村等	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康長寿サポーターの養成者数の増加</li> <li>食育推進事業等を通じた人材の数の増加</li> </ul> <目標値>更なる増加(東松山保健所管内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康長寿サポーターの養成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>養成講習 3回、養成人数 18人</li> <li>受講者には「健康長寿サポーター応援ブック(修了証)」を交付</li> </ul> </li> <li>各ライフステージに応じた人材育成。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会(減塩対策、アレルギー、高齢者支援等) 8回 796人</li> </ul> </li> <li>市町村健康増進関連計画(健康増進・食育・歯科等)の策定及び進行管理の支援 6回 19人</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民が主体的に生活習慣の改善に取り組める地域づくりが重要。</li> <li>生活習慣病の発症予防・重症化予防のためには、若い世代からの取組が重要である。子どもへの食育や働き盛り世代が健康づくりに取り組めるような環境づくりに取り組む必要がある。</li> <li>健康増進計画や食育推進計画、データヘルズ計画等と連動し地域の生活習慣病予防対策を進めていく必要がある。</li> <li>在宅高齢者の増加も見込まれることから、健康長寿を目指し高齢者への食生活支援も併せて行っていく必要がある。</li> <li>健康づくりのイベントや研修会を実施する中で、積極的に「健康長寿サポーター養成講習」を行う。</li> </ul>
6	東松山保健所	3 受動喫煙防止対策	飲食店 娯楽施設 事業所など	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県受動喫煙防止対策実施施設の認証数の増加 (R1.6~)</li> <li>受動喫煙対策に向けた啓発・指導・助言</li> </ul> <目標値>320施設(東松山保健所管内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県受動喫煙防止対策実施施設の認証                             <ul style="list-style-type: none"> <li>法律を上回る対策に取り組む施設等を認証し、これを広めていくことにより、実行性のある対策を推進。認証施設数 167施設(参考:R2.8現在 350施設)</li> </ul> </li> <li>改正健康増進法に係る周知                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「望まない受動喫煙」を受けない環境の推進。飲食店、事業所等への推進及び対策の相談を実施。周知、啓発等 年20回 7834施設</li> </ul> </li> <li>受動喫煙対策違反等の通報に対する指導、助言の開始(R2.4.1~)</li> <li>喫煙可能店の届出及び掲示を推進。喫煙可能店届出 30件</li> </ul>	-	-	167	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店や事業所等とも連携し、地域全体で健康を支え合う体制づくりが必要。</li> <li>食品営業許可新規・更新時や食品衛生責任者実務講習会、検便等の機会を捉え、積極的に協力要請を行う。</li> <li>その他保健所が行う許可申請及び地域振興センター等で、周知・啓発を行う。(主に事業所)</li> </ul>
7	川越市	1 健康づくり事業の推進	市民	健康づくり事業(講座、教室等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数 H29 334回 H30 619回 R1 575回</li> <li>運動・栄養・歯科等の教室を実施した。</li> </ul> </li> <li>ラジオ体操の講習会、研修会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数 H29 20回 H30 23回 R1 14回</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	B	市民が主体的に生活習慣の改善に取り組めるよう環境づくりが重要。
8	川越市	2 地域全体で健康を支える体制の推進	市民	健康づくり推進協議会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり推進協議会の開催回数                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 2回 H30 2回 R1 5回</li> </ul> </li> <li>健康まつりの開催回数                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>H29 1回 H30 1回 R1 1回</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>市民が主体的に健康づくりに取り組むことが出来るよう、市民・関係団体・市などが相互に連携し、協働して推進するための協議を行った。</li> </ul>	-	-	-	B	関係者が連携して具体的な取組にまで繋げていくことが重要。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
9	川越市	3 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・特定健康診査	川越市国保加入者の40歳以上の者	■特定健康診査受診率 <目標値> 42%(H30) 44%(R元)	■特定健康診査の実施 (新たな取組み) ・令和元年度からインセンティブの提供(R1から実施。受診者の中から抽選でプレゼント) ・啓発の機会を増やした(資源循環推進課が実施する路上喫煙禁止地区内の巡回啓発事業と合同で特定健診の啓発。理美容組合に特定健康診査のポスター掲示を依頼等) ・医療機関を訪問するなどして健診趣旨の再周知を行った。	40.7% (H28年度末)	41.9%	41.9%	C	■健診受診率の向上(毎年度2%増を目標) ■未受診者の受診勧奨の継続(電話・通知) ■啓発の機会を増やす(ポスター掲示、チラシ配布の場所と機会の拡大) ■受診率を地区別に示し、特に受診率の低い地区へ受診勧奨を行う。 ■診療情報提供事業の実施(県の事業への参加 R2予定) ■健診委託医療機関への受診率や健診結果等の情報提供
10	川越市	4 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・特定保健指導	特定健康診査の結果、特定保健指導に該当した者	■特定保健指導実施率 <目標値> 16%(H30) 18%(R元)	■特定保健指導の実施 (主な取組み) ・特定健康診査の受診結果数値が一定の範囲内にあるものについて、個別及び集団で保健指導を実施する。	14.0% (H28年度末)	14.7%	14.2%	D	■特定保健指導実施率の向上(毎年度2%増を目標) ■開催場所の拡大。利用者が参加しやすい時間帯での開催(R2から実施) ■啓発の機会を増やす(実施医療機関にポスター掲示、チラシ配布機会の拡大) ■地区へ出向いた相談会の実施 ■従事者の資質の向上(研修の継続開催) ■指導の成功例を記したチラシを作成し、対象者へ利用券とともに郵送
11	川越市	5 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・糖尿病性腎症重症化予防事業	国保加入者の20歳以上の者のうち、糖尿病の重症化のリスクが高い者	■新規人工透析移行者数減少率 <目標値> 1%減少(H30年度) 1%減少(R元年度)	■糖尿病性腎症重症化予防事業の実施(埼玉県、国保連、市町村の共同事業に参加) (主な取組み) ・未受診者、受診中断者への受診勧奨 ・保健指導の実施	(H28年度末・85人)	1%増加 (86人)	12%減少 (76人)	B	■新規人工透析移行者の減少(毎年度1%減少を目標) ■保健指導参加者を増やすため、医療機関へ事業参加を呼びかける(説明会の開催)。 ■腎臓病に関する市民への講演会の開催(対象者のみならず、多くの市民を対象に啓発を行う) ■重症化予防を目的とした歯科に係る取り組みを実施する(R2から)
12	坂戸市	1 地域資源と連携した健康づくりの推進	市民	■出前講座等への参加者数  ■葉酸プロジェクト参加者数(H18~)の増加	■市民ボランティアとの協働による健康づくりの推進 ・健康づくりボランティア「元気にし隊」との協働により、健康に関する出前講座等を実施した。7回 1,478人 ・市内百貨店における健康チェック(骨健康度測定、血管年齢測定)を実施した。参加者数 延べ 480人 ■坂戸市葉酸プロジェクトの推進 ・女子栄養大学と協働で、認知症のリスクとなる動脈硬化の予防に効果があるとされるビタミン「葉酸」の摂取の推進を促すセミナー等を実施した。実施回数 13回 延べ512人	13回 1,104人 (29年度)  1,747人 (18年度~29年度累計・実人数)	12回 1,774人  1,849人	7回 1,478人  1,970人	B  B	■市民ボランティアの自発的な健康づくりの実践に向けた支援を継続する必要がある。  ■葉酸の働きについて理解し、食生活で積極的に摂取する市民を増やすため、様々な機会を捉えた周知を図る必要性がある。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
						計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)				
13	坂戸市	2 健康な心と身体を育む食育の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり応援店認定店舗・認定品数の増加</li> <li>家庭で実践できる内容であったか(参加者アンケート)</li> <li>参加者のCKDステージ維持改善率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食を通じた健康づくり応援店普及促進事業の推進</li> <li>食の環境整備及び市内産業の振興を図るため、市内飲食店において、健康に配慮したメニューや食品を提供する店舗を「食を通じた健康づくり応援店」として認定した。</li> <li>体験型食育講座の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスの良い食事の組合せや作る楽しさの体験を目的に、食を通じた健康づくり応援店の協力により、料理教室を開催した。2回 37人</li> </ul> </li> <li>人工透析予防対策事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工透析患者の増加を抑制するため、女子栄養大学と連携し、慢性腎臓病予防に取り組むとともに、個別相談を実施した。</li> <li>・慢性腎臓病予防講演会 参加人数 70人</li> <li>・慢性腎臓病予防の食事教室 2回 参加者数 延べ45人</li> </ul> </li> </ul>	43店舗・89品 (29年度末)  -  110人 56人 (29年度)	47店舗・91品  習った料理を家で作ってみたい方の割合 94.4%  CKDステージ維持改善率 80%	47店舗・90品 (R1年12月末)  習った料理を家で作ってみたい方の割合 100%  CKDステージ維持改善率 94.7%	C  A  A	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗の廃業やメニューの提供の中止により店舗数・品目数が増減している。今後、健康づくり応援店のさらなる周知を図る必要がある。</li> <li>「プロに学べる」ということに興味を持った参加者が多いため、今後も引き続き、健康づくり応援店の協力をいただき展開したい。</li> <li>CKDステージ維持改善率の評価はH30年度の講演会、食事教室参加者のうち、比較ができた38名について行った。</li> </ul>
14	坂戸市	3 特定健康診査・特定保健指導の実施	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査受診率 &lt;目標値&gt;40%</li> <li>特定保健指導実施率 &lt;目標値&gt;16%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月～11月に実施</li> </ul> </li> <li>特定保健指導                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の教室と委託による方式で実施</li> </ul> </li> </ul>	(法定報告) ■特定健康診査受診率 38.0% ■特定保健指導実施率 11.7%(29年度)	(法定報告) ■特定健康診査受診率39.4% ■特定保健指導実施率8.8%	(法定報告) ■特定健康診査受診率38.9% ■特定保健指導実施率6.7%	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査については、受診率が0.5ポイント減少することとなった。より積極的な受診率向上対策に取り組む予定である。</li> <li>特定保健指導については、2.1ポイント実施率が減少することとなった。より積極的な実施率向上対策に取り組む予定である。</li> </ul>

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
15	鶴ヶ島市	1 健康づくりの推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康づくり実践者の増大</li> <li>■健康づくり普及に係るリーダーの育成</li> <li>■健康づくりに関する知識の普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コバトン健康マイレージ参加者数 ・H29年度:892人 H30年度:1,135人 R元年度:1,314人 ウォーキング等健康づくり実践者の拡大が図れた。</li> <li>・定例健康ウォーク開催(新規) H30年度:10回(延べ204人参加) R元年度:9回(延べ135人参加)</li> <li>■人材育成 ・元気なまちづくりリーダー養成講座(6回コース) H29年度:21人修了 H30年度:12人修了 R元年度:13人修了</li> <li>・リーダー養成研修フォローアップ講座 R元年度:2回(延べ34人参加)</li> <li>・食生活改善推進員養成講座(5回コース) H29年度9人修了 H30年度:7人修了 R元年度:9人修了</li> <li>■健康づくり講演会(フレイル予防講演会)開催 R元年度:2回(194人参加)</li> <li>■食育・栄養講座 H29年度:4回(246人参加) H30年度:2回(148人参加) R元年度:1回(56人参加)</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業参加をきっかけに個人の健康づくりの視点の広がりを持たせられる支援や健康づくりの習慣化にむけた支援が必要である。</li> <li>■育成した人材が活躍できる場を広げる必要がある</li> <li>■講演会開催等による知識の普及啓発を切り口に健康づくりの意識の向上を図る。</li> </ul>
16	鶴ヶ島市	2 特定健康診査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定健診&gt;40~74歳の国民健康被保険者&lt;特定保健指導&gt;40~74歳の国民健康被保険者のうち特定健康診査の結果により対象となった者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健康診査受診率&lt;目標値&gt;特定健康診査受診率60%</li> <li>■特定保健指導利用率&lt;目標値&gt;特定保健指導利用率60%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定健診&gt;■坂戸鶴ヶ島医師会の医療機関と保健センターで実施。受診者 5,268名</li> <li>■対象者に合わせた受診勧奨はがきの送付 ①6,456通 ②8,724通</li> <li>■早期受診者キャンペーン 健診を受診し、結果を保健センターに持参した方にオリジナルエコバックを先着100名に進呈</li> <li>&lt;特定保健指導&gt;■坂戸鶴ヶ島医師会の医療機関と保健センターで実施 保健指導利用率(動機づけ支援+積極的支援)20.9% 動機づけ支援利用率 22.4%、積極的支援利用率 14.2%</li> <li>■受診勧奨ハガキの送付 547通</li> <li>■電話による利用勧奨 269回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定健診&gt;40% &lt;特定保健指導&gt;22%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定健診&gt;36.6% &lt;特定保健指導&gt;17.3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定健診&gt;41.2% &lt;特定保健指導&gt;20.9%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;特定健診&gt;■継続してAIやマーケティング理論を活用した受診勧奨を委託によって実施する。</li> <li>■国保加入時の窓口での案内を充実させる。</li> <li>■特定健診に準じた健診を実施している者の健診データの収集を強化する。</li> <li>■医療機関からの受診勧奨をするよう医師会に協力を求める。</li> <li>&lt;特定保健指導&gt;■感染症予防の観点からも対面での面接だけでなくICTの活用を検討する。</li> <li>■コロナ禍で利用勧奨を積極的に行えないことが課題。</li> <li>■保健指導委託医療機関を増やせるよう医師会に協力を求める。</li> </ul>

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
17	毛呂山町	1 特定健康診査・特定保健指導の実施	40~74歳の国民健康保険加入者	<p>■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率</p> <p>&lt;目標値&gt; 特定健康診査受診率45.0% 特定保健指導利用率45.0%</p>	<p>■特定健康診査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数会場での健診実施、土日実施等、対象者が受診しやすい体制づくりに努めた。</li> <li>・がん検診、肝炎検診、歯周病健診等との同時実施日を設定。また、レディース健診を実施した。</li> <li>・年度当初、全対象者に健診受診に関する意向確認調査を実施。その後、回答の無い者に対して複数回の勧奨通知。</li> <li>・①当年度集団健診申込者のうち当日欠席者、②前年度個別健診受診者のうち当年度未申込者に対して、個別健診受診券を送付し受診勧奨。</li> <li>・健診を希望しない者のうち医療機関定期受診者に対して、診療情報提供依頼。</li> </ul> <p>■特定保健指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団健診当日に、腹囲・BMI・血圧の値が保健指導域に該当する者に対して保健指導初回面接を実施。</li> <li>・61歳以上の保健指導対象者には、健診結果を手渡しすると同時に初回面接を実施(健診当日に保健指導を実施していない者のみ対象)。初回面接は教室・個別面接・訪問等、複数の形式で行い、できるだけ対象者の都合に合わせて実施できるよう努めている。</li> </ul>	45.0%	47.9%	44.4%(暫定)	C	<p>■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率の更なる向上を目指し、現在の取り組みに加えて、各種勧奨通知内容の工夫・改善に努める。</p>
						45.0%	48.0%	40.0%(暫定)		
18	毛呂山町	2 健康増進に関する知識の普及啓発	町民	<p>■各種健康教室実施による健康増進に関する知識の普及啓発</p>	<p>■健康増進に関する知識の普及啓発:各種健康教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚がん予防教室 1回34人</li> <li>・生活習慣病予防教室 5回90人</li> <li>・運動教室 4回58人</li> </ul>	-	-	-	B	<p>■第2次毛呂山町健康増進計画・食育推進計画に沿った事業の実施</p>
19	毛呂山町	3 地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進	町民	<p>■各種健康事業の実施による健康なまちづくりの推進</p>	<p>■地域社会への参加、仲間づくりにつながる健康なまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町独自の健康体操の普及:DVDの配布等</li> <li>・町健康マイレージ事業による健康支援(H28~参加者2,416人)</li> </ul>	-	-	-	B	<p>■健康増進に向けた事業を実施:健康マイレージ事業の継続</p>
20	越生町	1 健康づくりに関する知識の普及啓発	町民	<p>■健康づくりに関する知識の普及啓発</p>	<p>■健康づくり事業の実施</p> <p>○ハイキングのまちおごせ健康長寿プロジェクト</p> <p>1 毎日1万歩運動プラス1000歩運動</p> <p>毎日一万歩運動(毎日一万歩を目指してウォーキングする)と、プラス1000歩運動(普段の歩数にプラス1000歩を目指してウォーキングする)の2コースについて、初回面接・体力測定後、6か月間継続してウォーキングを実行し健康づくりに取り組んだ。</p> <p>参加者実人数:44人 修了者:37人</p> <p>ウォーキング教室</p> <p>第1回:参加者数20人 第2回参加者数:11人</p>	-	-	-	B	<p>■平成28年度から、ハイキングのまちおごせ健康長寿プロジェクトとして、1年を通して生活習慣改善のためのきっかけづくりができるような運動や栄養に関する講座の提供を行っている。今後も継続予定。</p>



整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)								
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
21	越生町	1 健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)	町民	■健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)	(上欄からのつづき) 2 健康長寿講座 ①「自宅のできる簡単エクササイズ」 腰痛対策編 参加者数:55人 膝痛対策編 参加者数:40人 肩・上半身の痛み対策編 参加者数:35人 ②「あなたががんと言われたら～がんと言われて考えること・するべきこと～」参加者数:57人 ③「歩ける足をキープするためのフットケア教室」 第1回 参加者数:19人 第2回 参加者数:43人 ④「一生丈夫な骨づくりと元気な足づくり～骨粗しょう症と足の病気について～」参加者数:102人 ⑤「バランスアップ食事教室『食べちゃダメ』『面倒くさい』のストレスからの開放をめざして」 第1回 参加者数:24人 第2回 参加者数:9人	-	-	-	-	-
22	越生町	1 健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)	町民	■健康づくりに関する知識の普及啓発 (上欄からのつづき)	(上欄からのつづき) 3 健康づくりマイレージ事業 健康づくりに関する自己目標の設定と町が指定した健康づくり関連事業に参加し、ポイントを獲得することで、楽しみながら自主的・継続的に健康づくりが実践していく。 令和2年3月31日現在 登録者数 2,626人 令和元年度新規登録者数 89人 ポイント達成者数 延1,903人 ○健康づくり協力委員会 ウォーキング・グラウンドゴルフ・ハイキングなど、各地区で健康づくりに関する事業を企画・実施。 研修会:地区活動に活かせる準備体操 第1回 参加者数:19人 第2回 参加者数:14人 ○健康まっぴりの開催	-	-	-	-	-
23	越生町	2 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防	町民	■糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防	■生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・生活習慣病重症化予防対策事業(国保) 生活指導終了者 3人 ・糖尿病・腎機能受診勧奨訪問事業 糖尿病・腎臓病発症予防のため、医療機関への受診勧奨を訪問で行った。 延13人 ・腎臓にやさしい食事教室 1日目 参加者数:16人 2日目 参加者数:12人 ・腎臓にやさしい食事フォローアップ教室 参加者数:10人	-	-	-	B	■糖尿病受診勧奨、未受診者への訪問指導、生活習慣病重症化予防対策事業の継続。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
						計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)				
24	越生町	3 特定健康診査・特定保健指導の実施	町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健康診査受診率 &lt;目標値&gt;60%</li> <li>■特定保健指導実施率 &lt;目標値&gt;60%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健康診査・集団検診と個別検診(医療機関)を併用して実施</li> <li>■特定保健指導・積極的支援、動機付け支援ともに町直営での実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健康診査受診率 41.4%</li> <li>■特定保健指導実施率 15.9%(29年度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健康診査受診率 40.8%</li> <li>■特定保健指導実施率 20.2%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特定健康診査受診率 40.5%</li> <li>■特定保健指導実施率 19.8%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>C</li> <li>C</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和元年度はAIを活用した受診勧奨を実施した。令和2年度も継続予定。</li> <li>■特定保健指導については、手紙や電話等での勧奨や夜間休日の実施も計画はしているが、実施率の上昇にはつながらない。検診当日での特定保健指導が実施できれば効果的であるが、会場やマンパワー不足により実施が難しい。</li> </ul>
25	鳩山町	1 東京都健康長寿医療センター共同研究事業	町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康寿命の延伸に向けた取り組みの展開</li> <li>■健康づくりサポーター養成者の増加</li> <li>■介護予防普及啓発事業参加者の増加</li> <li>■地域介護予防活動支援事業参加者及び活動者の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■①「健康長寿研修会(健康長寿セミナー)開催</li> <li>■②介護予防事業の実施(地域包括支援センター)※②-1、②-4、②-5は共同研究事業の一環として実施。</li> <li>②-1 さわやか健康教室 10回1コース 参加延べ人数:227人</li> <li>②-2 地域健康教室 4会場 計165回 参加延べ人数:9,481人</li> <li>②-3 はあとふるパワーアップ教室(栄養講座は共同研究事業の一環として実施)(おもりを使った筋力アップ体操)15回1コース 参加延べ人数:205人</li> <li>②-4 健康づくりサポーター養成講座 3回1コース 参加延べ人数:15人</li> <li>②-5 健康づくりサポータースキルアップ研修 3回(うち1回は①の健康長寿セミナーとして実施) 参加延べ人数:45人</li> <li>②-6 はあとふるパワーアップ体操リーダー養成セミナー 8回1コース 参加延べ人数:52人</li> <li>②-7 はつらつ教室 3回1コース(新型コロナウイルス感染症対策のため、1回のみ実施) 参加延べ人数:66人</li> </ul>	-	-	-	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■共同研究事業について保健事業と介護予防事業の一体化に向けて、高齢期だけでなく、壮中年期から連続した枠組みでの事業の展開が必要。</li> <li>■コロナ禍で事業実施が限られる中、健康づくりサポーターはあとふるパワーアップ体操リーダー等の担い手の養成及び教室運営の継続への支援の検討。</li> <li>住民主体の活動への住民及び行政それぞれの意識転換。また、住民主体の活動を支える仕組みをどう作り、継続させていくか。</li> <li>■コロナ禍による活動自粛等に伴うフレイル対策の強化</li> </ul>

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
26	鳩山町	2 ままで健康21プラン(第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画)の推進	町民・関係団体等・行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康寿命の延伸に向けた取り組みの強化</li> <li>計画目標数値に対する現状値の向上</li> <li>&lt;目標値&gt;</li> <li>AAA修了生による新規自主活動グループ結成</li> <li>マイレージ事業目標参加者数300名達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりトレーニング事業の実施</li> <li>AAATレーニンング教室</li> <li>協力:大東文化大学スポーツ健康科学部(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)</li> <li>健康マイレージ事業の実施</li> <li>マイレージ事業申込者:58名(計387名)</li> <li>キックオフイベント~運動靴はこう選ぶ~</li> <li>協力:株式会社 リライト 参加者:30名</li> <li>体力測定</li> <li>協力:武蔵丘短期大学 参加者:41名</li> <li>効果測定</li> <li>協力:武蔵丘短期大学 参加者:64名</li> <li>健康マイレージ事業と食生活改善推進員協議会共同事業特別講演「もう膝痛で悩まない!膝に優しいウォーキング講座」</li> <li>協力:県民健康福祉村 参加者:46名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AAATレーニンング教室1グループ結成</li> <li>はとやま毎日1万歩運動(マイレージの前身)</li> <li>参加者:300人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AAATレーニンング教室1グループ結成</li> <li>健康マイレージ事業</li> <li>参加者:329人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AAATレーニンング教室新規養成なし(現在11グループ)</li> <li>健康マイレージ事業</li> <li>参加者:387人</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>AAATレーニンング教室及び健康マイレージ事業では、様々な理由から外に出ない方にも積極的に声を掛け参加に繋げることで、より広く、多くの町民が健康づくりに取り組む機会としたい。</li> </ul>
27	鳩山町	3 鳩山町国民健康保険データヘルス計画の推進	町国保被保険者	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者の健康増進及び健康格差の縮小を図る</li> <li>特定健診受診率及び特定保健指導利用率の向上</li> <li>&lt;目標値&gt; 特定健診受診率44.9%</li> <li>&lt;目標値&gt; 特定保健指導利用率37.8%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査未受診者勧奨・継続受診対策の実施</li> <li>特定保健指導未利用者勧奨の実施</li> <li>生活習慣病重症化予防対策事業の実施</li> <li>特定健診結果及びレセプトデータから選定されたハイリスク者に対し、年間4~6回の生活指導を行い、透析にならないための習慣づけを行った。開始前後で血液検査数値による効果検証を行った。事業参加者1名。</li> <li>主要4疾患(糖尿病、高血圧症、虚血性心疾患、脳血管疾患)対策事業の実施</li> <li>金沢大学と連携し、KDB分析結果から明らかになった地区別健康課題やその課題に基づく疾病予防・生活習慣のポイント等をまとめた教材を作成し、地区別健康課題に関連する高リスク者に対して配付、電話による個別支援を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率:39.1%</li> <li>特定保健指導利用率:15.7%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率:33.7%</li> <li>特定保健指導利用率:11.4%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診率:40.7%</li> <li>特定保健指導利用率:11.1%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査について 令和元年度は人工知能(AI)技術による対象者特性に応じた個別具体的な通知勧奨や町職員による年代や地区に応じた電話・訪問勧奨等の未受診者対策を講じたことにより前年度同時期より受診率が大きく向上。今後は「不定期受診者(&lt;3年連続受診)」や「レセプトあり未受診者」へのアプローチが課題。</li> <li>特定保健指導について 平成28年度以降、10%台と低い利用率が続いており、未利用理由や対象者特性に応じた利用勧奨や指導プログラムの工夫が必要。</li> </ul>
28	東松山市	1 若者健診・特定健康診査・後期高齢者医療健康診査・特定保健指導	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査受診率・特定保健指導利用率</li> <li>&lt;目標値&gt;</li> <li>①定健診受診率 38%</li> <li>②特定保健指導利用率 16%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の利便性に合わせた健診を実施。</li> <li>特定健康診査受診率</li> <li>H29 37.6% H30 37.7% R1 37.1%</li> <li>特定保健指導利用率</li> <li>H29 14.4% H30 12.0% R1 11.4%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①37.6%</li> <li>②14.4%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①37.7%</li> <li>②12.0%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①37.1%</li> <li>②11.4%</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>R1年度の受診勧奨重点地区を含め、国保保健事業実施計画に沿った未受診者対策「受診勧奨事業」を実施する。</li> </ul>

整理番号	実施機関	計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)								今後の事業展開・課題等
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	
						計画当初	H30	R1		
29	東松山市	2 健康教育	市民	■健康教育事業参加者の増加	■市民のニーズに合い、健康増進につながる健康教育の実施。 ・大腸がん症予防教室 参加実人員 61人 ・健康を守り隊シリーズ 参加実人員 34人 ・さわやか運動教室 参加実人員 75人 ・からだイキイキきれい講座 参加実人員 19人	-	-	-	B	■地域の健康課題、ニーズに合わせた健康教育を実施し、市民が生活習慣改善に取り組めるようになる。
30	滑川町	1 特定健康診査・保健指導率の向上	40歳以上国保加入者	■特定健康診査受診率・保健指導利用率 <目標値(R1年度)> 特定健康診査受診率 45%・特定保健指導利用率35%	■特定健康診査は集団健診(6月に4日間*土曜日含む・10月に1日実施。)併せてがん検診を同時実施した。個別健診は6月1日~12月25日まで実施。特定保健指導は、対象者へ全数通知と電話連絡を行い、個別面談実施。	■特定健康診査受診率45% ■特定保健指導利用率35%	■特定健康診査受診率40.8% ■特定保健指導利用率28%	特定健康診査受診率(見込)41% 特定保健指導率(見込)25%	B	■特定健康診査受診率・保健指導利用率の向上へ向けて周知方法、指導内容を工夫していく。
31	滑川町	2 健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」の実施	町民	■参加者の健康維持・改善	■6ヶ月間毎日1万歩を目指しウォーキングを各自実施した。途中で身体測定・体力測定:2回、運動教室:2回、栄養教室:1回、報告会:1回を実施し、モチベーションの維持、参加者の交流を図った。身体測定・体力測定、医療費の検証を行い、参加者の身体面の良好な状態の維持、健康状態の改善に役立つことが示された。 参加者:31名	-	-	-	B	■今後も同様の事業を継続していく。
32	滑川町	3 埼玉県コバトン健康マイレージの実施	町民	■参加者数の増加 <目標値>更なる参加者の増加	■埼玉県コバトン健康マイレージを実施した。(歩数計およびアプリ) 広報で参加者を募集し、保健センターで歩数計の配布を行った。 ■健康フェスティバルで歩数計の即日発行イベントを開催した。(記念品あり) タブレット:町内8箇所設置 参加者:311人	280人 (平成29年度末)	311人	369	B	■今後も同様の事業を継続していく。
33	嵐山町	1 特定健康診査受診率・特定保健指導の実施	40歳~74歳の嵐山町国民健康保険被保険者	■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 <目標値> 特定健康診査受診率 48% 特定保健指導利用率 20%	■特定健康診査対象者への受診勧奨 ・リーフレットや圧着はがきによる受診勧奨を実施(5月3,367人、7月2,397人、9月2,308名、11月2,529名) ・各地区保健推進員を通じてリーフレット・啓発物資を全世帯に配布 ■診療情報提供事業に参加(対象者817名) ■特定保健指導利用率向上のための取組 ・施設での個別相談に加え、訪問による保健指導を実施 ・申込みのない方に対して、再度利用勧奨通知を送付。	特定健康診査受診率 47.3% 特定保健指導利用率 16.9% (平成28年度)	特定健康診査受診率 48.9% 特定保健指導利用率 21.6%	特定健康診査受診率 49.0% 特定保健指導利用率 27.7%	A	■受診率の低い階層(40~50代、働いている世代)に対して、どのような受診勧奨が効果的か、アプローチ方法が課題。 ■訪問を実施したため保健指導利用率は向上したが、さらなる取組が必要。電話勧奨など地域性を活かした利用勧奨を検討する。

整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)							今後の事業展開・課題等	
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移				自己評価 (A~D)
						計画当初	H30	R1		
34	嵐山町	2 健康長寿埼玉モデルの実施	町民	■健康長寿埼玉モデルに基づいた教室の実施	■らんらん健康教室の開催 ・健康長寿埼玉モデルの継続事業として実施。運動教室5回、体力測定2回、栄養・食事教室2回、歯科・口腔教室1回。計10回を1クールとし、3グループで実施(参加者延べ597名)	-	-	-	B	■教室終了後も継続的な取り組みができるような支援方法の検討が課題。
35	嵐山町	3 生活習慣病等予防のための相談・教室の実施	町民	■相談・教室の実施	■健診後の健康相談の開催 ・特定保健指導対象者以外で検査値が基準値を超える者を対象とした健康相談を年7回実施(参加者75名) ■ヘルスアップクッキング講座の開催 ・骨粗鬆症予防を目的に、講座・料理教室を年1回実施(参加者19名)	-	-	-	C	■健診後の健康相談については、相談者の事後フォロー(評価)ができていない。
36	小川町	1 健康増進計画・食育推進計画の推進	町民	■健康増進計画・食育推進計画の各項目評価指標	■平成26年度に策定した健康増進計画・食育推進計画の中間評価を行うとともに、「健康増進計画」「食育推進計画」に「自殺対策計画」を加え、3計画を一体的に取りまとめた改定計画を策定した。策定にあたっては、健康に関する町民アンケートを実施。小川町健康づくり推進会議を4回開催し計画についての検討を行った。	-	-	-	B	■健康づくり推進会議において、計画の進捗管理を行う。
37	小川町	2 特定健康診査・特定保健指導の実施	小川町国保40歳~75歳になる方	■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 <目標値> 特定健康診査受診率43% 保健指導利用率48%	■特定健康診査の基本項目に加え、追加項目として、血清尿酸、血清クレアチニン、貧血検査、尿潜血検査のほか、心電図検査、眼底健診を実施した。保健指導対象者には保健指導の通知発送を行い、担当者より後日電話連絡を行い、保健指導の利用を促した ■けんこう大使を活用した受診勧奨ポスターの掲示(行政区長諸事業説明会、民生・児童委員定例会等にてポスター掲示依頼と受診勧奨PR)や町主催の各種教室、イベント、また町広報誌やツイッター、回覧等で受診勧奨を実施 ■過去に受診したことがある方に対し、電話で受診勧奨、前年度医療機関非通院者に対して個別受診勧奨、及び当該年度の未受診者に対し圧着はがきによる受診勧奨通知の発送した	-	特定健康診査受診率40.8% 保健指導利用率(終了率)34.3%	特定健康診査受診率40.4%(R2.8.26現在) 保健指導利用率(終了率)法定報告集計中	C	■慢性腎臓病・高血圧の重症化予防として、引き続き健診項目等の充実を図り、保健指導率を確保していく。 ■特定健康診査等の受診率向上を目指し、地区組織と連携し、未受診者に対し受診勧奨を行う。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
38	小川町	3 健康づくりの推進と健康意識の向上	町民	■埼玉県コバトン健康マイレージ事業の参加者数の増加	■手軽に行うことができるウォーキングを推進することで健康づくりの推進と健康意識の向上を図るため、埼玉県コバトン健康マイレージ事業への参加と、小川町健康ポイント事業を実施した。 ・埼玉県コバトン健康マイレージ事業 参加者数598名 ・小川町健康ポイント対象事業 111名 ■町民の健康な身体づくりのため、「ラジオ体操教室～毎日を健康に過ごしましょう～」を実施した。 ・参加者数 52名	-	-	-	B	■健康づくりの推進の為、対象事業の周知を勤め、参加者を増やしていく。
39	川島町	1 特定健診・がん検診の受診率の向上	町民	■特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上  <目標値> 特定健診受診率 60% 特定保健指導利用率 60%	■特定健診・特定保健指導の実施 ・集団健診7日間、個別健診7か月間 ・子育て中の母親が受診しやすいように託児会場を設置。 ■特定健診の受診勧奨 ・特定健診未受診者にハガキ又は通知にて受診勧奨	H29年度 特定健診受診率 49.0% 特定保健指導利用率 23.4%	特定健診受診率 48.9% 特定保健指導利用率 11.9%	特定健診受診率 51.9% 特定保健指導利用率 67.2%	B	■特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
40	川島町	2 健康づくり事業の推進	町民	■健幸★筋力アップ教室及びかわべえ健幸マイレージ参加者数の増加	■健康長寿埼玉モデル「健幸★筋力アップ教室」の実施 ・個別運動プログラムを作成し、筋力トレーニングとウォーキング等の有酸素運動、栄養指導を実施。 ・新規者：H29年度 120人、H30年度 44人、R1年度 42人、実施回数 50回 ・継続者：H29 180人、H30年度 176人、R1年度 127人、実施回数 295回 ■かわべえ健幸マイレージの実施(H29年度から開始) ・体操教室の参加や健診受診によりポイントを獲得、ポイント数に応じて賞品と交換。 ・賞品交換人数 H29年度 78人、H30年度 507人、R1年度 462人	-	-	-	B	■県補助金終了後の筋力アップ教室の運営方法の検討 ■かわべえ健幸マイレージの参加者の増加
41	川島町	3 健康づくりに関する知識の普及啓発	町民	■かわべえ健康大学の参加者数の増加	■かわべえ健康大学の実施 実施回数8回 ・参加者数：H29年度 53人、H30年度 65人、R1年度 59人 ・内容：健康づくりに関する講演会(①食事、②運動、③心、④歯科、⑤みどり、⑥腎臓 他)。 ■腎対策訪問指導事業 ・e-GFR高値の方を対象に訪問指導を実施	-	-	-	B	■生活習慣病の重症化予防について知識の普及啓発

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
42	吉見町	1 健康寿命の延伸	町民	<p>■健康長寿サポーターの増加 &lt;目標値&gt;更なる増加</p> <p>■介護予防ボランティアの増加 &lt;目標値&gt;更なる増加</p>	<p>■健康長寿サポーターの養成 ・CKD予防教室、骨コツ教室開催時に実施(参加者数H29年度32人、H30年度24人、令和1年度23人)</p> <p>■介護予防ボランティアの養成 ・介護予防ボランティア講習会の実施(受講者数H29年度20人、H30年度24人、令和1年度28人)</p>	-	-	-	B	<p>■健康長寿サポーター及び介護予防ボランティアの増加に向け、講習等を拡大し取り組んでいくなど、健康づくりを目的とした活動に自主的に関わっている町民を増やす事業を展開していく。</p>
43	吉見町	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	町民	<p>■特定健康診査受診率・特定保健指導利用率 &lt;目標値&gt; ①特定健康診査受診率 60% ②保健指導利用率 60%</p>	<p>■健康長寿サポーターの養成 ・CKD予防教室、骨コツ教室開催時に実施(参加者数H29年度32人、H30年度24人、令和1年度23人)</p> <p>■介護予防ボランティアの養成 ・介護予防ボランティア講習会の実施(受講者数H29年度20人、H30年度24人、令和1年度28人)</p>	①60% ②60%	①42.3% ②18.6%	①42.4% ②7.8% (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため特定保健指導の実績評価が未実施となったため減少)	C	<p>■更なる特定健康診査受診率及び特定保健指導の利用率の増加に向けた取り組みの実施。</p> <p>■受診環境の整備等、実施体制についても整備していく。</p>
44	ときがわ町	1 健康診査(特定健診・若もの健診・いきいき健診)の実施	町民	<p>■特定健診・特定保健指導の受診率向上 &lt;目標値&gt;42.0%</p>	<p>■特定健診・いきいき健診は、集団以外に個別、人間ドックを実施。集団では各種がん検診、食生活調査、栄養相談などを同時実施し、魅力ある健診内容をめざし継続受診者を増やす取組を行った。</p>	特定検診 40.9%	特定検診 40.7%	特定検診 42.0%	B	<p>■特定健診・特定保健指導の更なる受診率向上を目指す</p>
45	ときがわ町	2 特定保健指導率の向上	町民	<p>■スモールチェンジ事業の継続 &lt;目標値&gt;40.0%</p>	<p>■特定保健指導対象者に対し、生活習慣の改善を促すため健診後に結果報告会を実施。また、血圧が高値の人を対象に保健指導を行い重症化予防に取り組んだ。</p>	保健指導 30.7%	保健指導 34.0%	保健指導 32.7%	B	<p>■スモールチェンジ事業の継続にあたり、食生活調査も対象者を変えて実施していく</p>
46	ときがわ町	3 「スモールチェンジ」活動の推進	町民	<p>■「グッと楽！ウォーキングチャレンジ」事業の拡大</p>	<p>■TOKIGAWAストレッチの普及啓発をボランティアを養成して進める</p>	-	-	-	B	<p>■「グッと楽！ウォーキングチャレンジ」事業内容の見直しが必要</p>
47	東秩父村	1 特定健診・若もの健診・長寿医療健診	20歳以上の住民	<p>■受診率 &lt;目標値&gt;40歳~74歳国保被保険者の60%</p>	<p>■集団の特定健診、20歳~39歳若もの健診、75歳以上長寿健診と、がん検診、骨密度測定を同時実施。 ・健診申込書は地区の衛生委員を通じて全戸配布している。特定健診に貧血検査、心電図、眼底検査、腎機能検査(eGFR)を追加。平成27年度から特定健診・がん検診の自己負担を無料にした。</p>	特定健診受診率:52%	特定健診受診率:50.5%	特定健診受診率:53.4%	B	<p>■保健センターが担う役割を関係部署・機関と確認をしながら、事業を継続していく。</p>

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
48	東秩父村	2 特定保健指導および健診結果説明会	健診受診者	■保健指導利用人数 ■保健指導対象者の2.0%	■健診結果説明会と特定保健指導を同時実施。 ・保健指導の対象ではない希望者にも栄養・健康づくり相談、保健指導を個別に実施している。重症化予防のため、健診結果のHbA1c、血圧が高値の住民には個別訪問、電話を実施。	特定保健指導 実績:3.4%	特定保健指導 実績:9.6%	特定保健指導 実績:18.3%	B	■特定保健指導の利用が伸びないことから、令和元年度は歯科衛生士による「生活歯援プログラム」を健診結果説明会で実施した。
49	東秩父村	3 心身軽やか運動教室	20歳以上の住民	■教室参加人数	■季節ごとに開催時間を変えた各運動教室の実施。 ・ヨガ教室、楽しく体を動かそう、たっぷりストレッチ、エアロビクス、減ら脂ま塩う(調理実習)といった多彩な内容で実施。平成28年度から「楽しく体を動かそう」と「減ら脂ま塩う」を健康長寿埼玉モデル(筋力アップ)に組み込み、昼・夜の2コースを実施。実施後の振り返り、フォローアップにも取り組んでいる。	参加延べ人数:940人	参加延べ人数:951人	参加延べ人数:870人	B	■参加者の意向、ニーズに対応できるように、講師と連携してより魅力のある教室の運営を継続する。
50	坂戸鶴ヶ島医師会	1 健康づくりに関する知識の普及啓発	市民市・関係機関	■行政機関との連携啓発活動	■特定健診・特定保健指導の実施 ・坂戸市・鶴ヶ島市及び社会保険組合等からの委託による特定健診、特定保健指導を個別医療機関にて実施。生活習慣病の予防啓発を行った。 ■健康教育等への講師派遣 ・「骨粗しょう症のお話」～丈夫で折れない骨づくり～(R2.2.14)参加者37名 鶴松整形外科・井伊京一郎先生 ・日本人に多い「胃がん」(R1.11.23)参加者43名 染井クリニック 岩井淳浩先生 ■禁煙治療実施医療機関をホームページに掲載。禁煙治療広報。	-	-	-	A	■外来診療等で特定健診受診率向上のための啓発活動を引き続き実施 ■関係機関との連携強化
51	坂戸鶴ヶ島医師会	2 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防	医療・介護関係機関	■関係機関との連携強化	■糖尿病腎症重症化予防対策事業への協力 ■埼玉医大CKD連携システムの活用 ・ホームページに掲載し、腎臓診療連携システムを構築	-	-	-	A	■引き続き継続して協力
52	坂戸鶴ヶ島医師会	3 関連学術講演会、研修会	医療・介護関係機関	■医療関係者の情報提供、スキルアップ	■最新の医療情報の提供。健康増進に関する講演会 ・学術講演会開催(4回) ・学術研究会開催(3回) ・循環器勉強会開催(1回)	-	-	-	A	■講演会・研修会等の内容の充実 ■オンラインによる講演会・研修会の開催
53	川越市医師会	1 健康づくりへの協力	川越市	■開催回数/参加者数	■市民講演会並びに健康まつり講師派遣 川越市主催の講演会において講師の派遣を行った。 (2回) ■川越市健康づくり推進協議会への協力	-	-	-	B	



整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
54	川越市医師会	2 糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症予防と重症化予防	医療機関 市民	■実施医療機関数	■特定健康診査・特定保健指導等の実施 会員施設において、特定健康診査実施。(101施設) 特定保健指導実施。(17施設) 糖尿病重症化予防事業協力医療機関(33施設)	-	-	-	B	■健康づくり対策の推進にあたり、関係医療機関と連携のうえ進めてゆく。
55	比企医師会	1 糖尿病重症化予防のための生活習慣改善支援プログラム事業	県民 市町村職員 等	■管内市町村職員等との連携強化 ■保健指導実務者等のスキルアップ	■糖尿病重症化予防のための生活習慣改善支援プログラムに協力 ・指導該当者の選択・参加呼びかけを行っている。	-	-	-	B	■行政からの指導対象者候補が、必ずしも腎症Ⅱ期からⅥ期の者になっておらず、Ⅰ期の者がかなり多く候補者とされている。逆に指導対象になるべき者が、指導対象者候補にされていない場合もある。適切に腎症病期を判定し、的確な指導を受けられるよう努力する。
56	比企医師会	2 健診後の健康相談の実施	県民 市町村職員 等	■管内保健センター活動に協力 ■患者への相談会参加を勧奨	■保健センター主催の特定健診後の相談会に講師を派遣	-	-	-	B	
57	比企医師会	3 シンポジウムへの参加と講師派遣	県民 歯科医師会 市町村職員 等	■歯科医師会との連携強化 ■管内市町村職員等との連携強化	■市町村主催の健康教室に講師を派遣 ・ポスター貼付に協力し、各種医療シンポジウム参加を住民に呼びかけている。	-	-	-	B	
58	川越市歯科医師会	1 歯ッピーフェスティバル、川越市健康まつり	会員 市民	■歯ッピーフェスティバルの川越市と共催による開催 ■川越市健康まつりへの参加	■歯ッピーフェスティバルを川越市と共催し、以下のような歯科に関する啓発及び相談を行った。 ・フッ素塗布、フッ素洗口、歯みがき指導、歯の相談、歯科職業体験、8020表彰、図画、ポスターコンクール作品の展示及び優秀作品の表彰。 来場市民概数:1,236人 ■川越市健康まつりに参加し、フッ素塗布、フッ素洗口、歯の相談、歯科検診などを行った。 ・歯科検診等参加者数:726人	-	-	-	B	■健康づくりのイベント等を活用して、ライフステージに対応した歯科に関する正しい知識の普及啓発を積極的に行う。
59	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	1 坂戸市、鶴ヶ島市2歳児健診	市民	■坂戸市、鶴ヶ島市2歳児健診の実施	■坂戸市、鶴ヶ島市においては、1歳6ヶ月と3歳の中間的な時期である2歳児健診を行い、発育期である乳幼児のむし歯予防を行うとともに保護者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。希望者にフッ化物塗布を行った。	-	-	-	B	■受診率の向上を図り、口腔保健の重要性を啓蒙する。
60	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	2 坂戸市成人歯科健診	市民	■坂戸市成人歯科健診の実施	■坂戸市成人歯科健診では節目の年齢の40歳・50歳・60歳・70歳の成人に対して歯科保健に関する知識を普及啓発した。さらに口腔衛生状態の改善を促し、口腔の健康増進を図った。	-	-	-	C	■節目の年齢を10年に1回から5年に1回とする。 ■受診率の向上を図り、口腔保健の重要性を啓蒙する。 ■成人歯科健診の個別化を鶴ヶ島市でも開始する。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
61	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	3 歯っぴーファイルの寄贈	小学校	■歯っぴーファイルの寄贈	■坂戸市・鶴ヶ島市の小学校新入生に対し口腔衛生教育を目的として歯っぴーファイルを寄贈した。 ・H29年度 1,420冊 H30年度 1,380冊	-	-	-	B	■各校の活用状況を把握し、活用方法を相談していく。
62	比企郡市歯 科医師会	1 歯科口腔保健の立場からの生活習慣病対策と重症化防止への取組)	市町村地域 住民	■新しい成人歯科健診の実施・普及	■生活習慣病対策の一環としての成人歯科健診の実施 日本歯科医師会作成『生活歯援プログラム』を活用した新しい成人歯科健診・保健指導の実施と事業協力。 ・川島町における成人歯科健診(H25～)、東松山市における「大人のための健康歯援プログラム」事業(H27～)、吉見町における「パパママ歯科健診」事業(H28～)、鳩山町における「健康生活歯援プログラム」事業(H29～) ・地域住民の歯と口腔の健康づくり及び全身の健康との関わりへの意識や関心を高めることができたと考え。	-	-	-	A	■特に、糖尿病の合併症であると歯周病との関わりについて、さらなる情報提供と啓発が必要であると考え。その観点からも、市町村における成人期における歯周疾患健診の実施が必要であり、実施に向け各市町村への働きかけが必要と考える。
63	比企郡市歯 科医師会	2 管内市町村における生活習慣病対策事業への協力参加、及び歯科口腔保健の関わりについての普及・啓発	市町村地域 住民	■生活習慣病対策と重症化防止	■生活習慣病と歯科口腔保健の関わりについての歯科講話等の実施 ・高齢者及びハイリスク者へ歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止へのアプローチとして実施。 ・川島町特定健康診査時に、成人歯科健診、生活習慣に関わる保健指導を実施(H25～) ・東松山市「大人のための健康歯援プログラム」における『糖尿病と歯周病チェックリスト』(埼玉県医科歯科連携推進会議糖尿病連携作業部会作成)の活用(H27～) ・吉見町慢性腎臓病(GKD)予防教室における歯科講話及び保健指導の実施(『生活歯援プログラム』を活用した保健指導・H28～年2回・教室への事業協力/教室開催年4回)) ・鳩山町「健康生活歯援プログラム」における『糖尿病と歯周病チェックリスト』(埼玉県医科歯科連携推進会議糖尿病連携作業部会作成)の活用(H29～)	-	-	-	A	■特に、糖尿病の合併症であると歯周病との関わりについて、さらなる情報提供と啓発が必要であると考え。その観点からも、市町村における成人期における歯周疾患健診の実施、及び生活習慣病対策事業における歯科の関わりが必要であり、実施に向け各市町村への働きかけが必要と考える。 ■歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止の重要性について、事業(教室)に参加された地域住民への情報提供と啓発、及び他職種への周知等が必要と考える。
64	比企郡市歯 科医師会	3 地域住民に対しての生活習慣病と歯科口腔保健との関わりについての知識の普及・啓発	市町村地域 住民	■生活習慣病と歯科口腔保健の知識の普及啓発	■市民公開講座の開催(年1回(予定)) ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の立場から開催を中止	-	-	-	D	■歯科口腔保健の立場から生活習慣病対策と重症化防止への取組として、「栄養」と「運動」の関わり、そして歯科口腔保健の重要性について、さらなる多職種へ周知、及び地域住民への情報提供と啓発が必要と考える。

整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)							今後の事業展開・課題等	
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移				自己評価 (A~D)
						計画当初	H30	R1		
65	川越市薬剤師会	1 健康づくりに対する薬の役割	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「薬の飲み方」の講習会への講師派遣</li> <li>■「川越市健康まつり」への参加</li> <li>■地域包括ケアセンターと協力してオレンジカフェなどへの薬剤師の参加</li> <li>■介護施設などにおける各種関連業種との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■公民館、生活情報センターなどにおいて、「薬の飲み方」の講習会に講師を派遣し、生活習慣病の知識の普及、啓発活動を実施した。</li> <li>・薬剤師会会員派遣人数：2人</li> <li>■「川越市健康まつり」での薬の相談、指導を実施した。</li> <li>・薬剤師会会員派遣人数：8人</li> <li>・薬の相談・指導参加者数：25人</li> <li>■地域包括ケアセンターと協力してオレンジカフェなど地域住民に薬剤師として参加できる場面を増やした。</li> <li>・薬剤師会会員参加人数：5人</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢者社会に対応すべく、関係機関と協力して、活動を進めていく。</li> </ul>
66	坂戸鶴ヶ島市薬剤師会	1 健康情報拠点の推進	県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■会員への研修 薬と健康の週間の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和元年 講習会9回実施 薬と健康の週間においてパンフレットの配布ならびに啓蒙</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■講習会の内容を治療に係ることが中心となっているが予防に重点をおいた研修も実施し市民により啓蒙できる薬剤師の育成が必要である。</li> </ul>
67	東松山薬剤師会	1 感染症予防等に関する意識向上のための普及啓発	県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市町や各種関係団体との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域新型インフルエンザ対策連絡会への参加</li> <li>■学校薬剤師活動における環境衛生検査の実施(教室内空気照度、プールの水、シックスクール、飲料水の検査)</li> <li>■東松山市、小川町、吉見町及び嵐山町給食センターの衛生検査(年3回)</li> <li>■学校保健委員会における感染症予防知識の啓発</li> <li>■店頭における咳エチケットポスターに掲示。咳エチケット・手洗いの普及</li> <li>■災害発生時の対応で役員から会員への連絡体制構築</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新型インフルエンザ発生時における医薬品供給体制の整備</li> <li>■大規模災害発生時における医薬品供給体制の整備</li> <li>■緊急事態発生時における薬剤師会会員への連絡体制の整備</li> <li>■停電時等における連絡体制の整備</li> </ul>
68	小川薬剤師会	1 健康づくりに関する知識の普及啓発	県民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康に関する理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■薬局で服薬指導時に生活習慣について指導</li> <li>・健康に対する意識が改善され、食事の内容が改善</li> <li>・日常生活に運動を取り入れることができた</li> <li>■薬局店頭でパンフレットの配布</li> <li>・健康や薬にたいする知識が向上された</li> <li>■学校薬剤師による「薬の正しい使い方」の公演</li> <li>・医療用医薬品やOTC医薬品に関し正しい理解ができた</li> <li>■学校薬剤師による薬物乱用防止教室の実施</li> <li>・未成年者のタバコやアルコールの害を学べた</li> <li>・違法薬物の怖さや依存症について学べた</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■関係者が連携して継続することが重要</li> </ul>



取組項目 **2. 歯科口腔保健対策**

目標 8020運動の目標達成を目指し、う蝕と歯周疾患の予防のため、乳幼児期から高齢期までのそれぞれのライフステージに応じた効果的な歯科口腔保健を推進します。また、在宅で療養する患者や老人福祉施設等の入所者が質の高い生活を送れるように歯科診療の提供及び口腔ケアの普及に努めます。

- 主な取組
- 歯科保健に関する知識の普及啓発
  - 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化
  - 歯科検診・歯周病検診、フッ化物応用等の普及啓発
  - 口腔ケアの普及啓発

<説明> 自己評価(主な取組状況・成果に対する評価。目標値が設定されている場合は、当該数値(推移)に対する評価をいう。) A:十分達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分

計画期間:平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
1	坂戸保健所	1 歯科保健計画推進事業	市町職員等	■管内市町職員等との連携強化	■保健所歯科口腔保健連絡会議の開催 1回 ・地域で取り組む「口の健康づくり」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町歯科保健担当者等が各機関の事業や地域歯科保健の現状と課題について意見交換。地域の歯科保健の課題や効率的な歯科保健事業展開のあり方などの検討を通じて、情報の共有・連携強化が図られた。	-	-	-	B	■限られた時間の中では、関係者間の討議を深めることは難しいが、関係機関が意見交換を行い、地域の歯科口腔保健の課題や今後のあり方について情報を共有することにより、歯科口腔ケアの向上を図る。 ■乳幼児の健全な歯・口腔の育成、学齢期の口腔状態の向上、成人期の健全な口腔状態の維持、高齢期の歯の喪失の防止を推進する。
2	東松山保健所	1 歯科保健計画推進事業	歯科医師会 歯科衛生士会 管内市町村	■関係機関等との連携強化	■保健所歯科口腔保健連携会議の開催 1回 ・地域で取り組む「口の健康づくり」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町村歯科保健担当者等が各機関の事業や地域歯科保健の現状と課題について意見交換。地域の歯科保健の課題や効率的な歯科保健事業展開のあり方などの検討を通じて、情報の共有・連携強化が図られた。 ・学童期(小・中学校の一部)のフッ化物洗口等が徐々に進められている。また、成人についても、「生活歯援プログラム」を導入・実施している市町村が増えてきている。	-	-	-	B	■関係機関が意見交換を行い、地域の歯科口腔保健の課題や今後のあり方について情報を共有することにより、歯科口腔ケアの向上を図る。 ■乳幼児の健全な歯・口腔の育成、学齢期の口腔状態の向上、成人期の健全な口腔状態の維持、高齢期の歯の喪失の防止を推進する。
3	東松山保健所	2 地域歯科保健連携事業の協力	県民	■普及啓発の推進	■歯科保健啓発事業の協力 2回 ・歯科医師会及び管内市町村で取り組む「歯の健康まつり」及び「市民公開講座」について、地域の歯科医師、歯科衛生士、各市町歯科保健担当者等が互いに協力し住民への歯科保健啓発の場を設け、セルフケアとプロフェッショナルケアの重要性の理解を深めている。 *新型コロナウイルス感染拡大予防のため「市民公開講座」は共催、周知のみで開催は中止	-	-	-	B	■各ライフステージにおける地域の歯科保健事業の実態を把握し、管内関係機関がより効果的な対策が行えるような仕組みづくりを行い、生活習慣病予防の視点を踏まえた生涯を通じた歯科保健対策を推進する。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
4	川越市	1 歯科口腔保健の推進	関係団体等	■歯科口腔保健関係団体との連携強化	■歯科口腔保健推進連絡会議の開催 ・会議の開催回数 H29 1回 H30 1回 R1 1回 ・歯科口腔保健を推進するため、関係機関と意見交換、連絡調整及び連携強化を図り、歯科口腔保健施策の総合的な取組を推進した。	-	-	-	B	■関係機関等と連携した周知・啓発等に関する取組を実施する。
5	川越市	2 歯科口腔保健事業の推進	市民	■歯科口腔保健事業の実施	■歯科健診事業の実施 ・妊産婦歯科健診実施回数 H29 10回、H30 10回、R1 9回 ・1歳6か月児健診実施回数 H29 48回、H30 48回、R1 44回 ・2歳児親子歯科健診実施回数 H29 9回、H30 9回、R1 8回 ・3歳児健診実施回数 H29 48回、H30 48回、R1 48回 ・成人歯科健診実施回数 H29 1回、H30 1回、R1 1回 ■歯科健康教育の実施 ・ライフステージに応じた各種健康教室を実施した。 ■幼児のむし歯予防推進事業の実施 ■障害者(児)歯科保健事業の実施	-	-	-	B	■ライフステージに応じた歯科口腔保健事業を実施することにより、う蝕予防や歯周病予防の推進を図ることで、8020達成者の増加を目指す。
6	坂戸市	1 母子の歯科保健の推進	市民	■3歳児う蝕罹患率 <目標値>10%	■2歳児歯科健診 ・年22回実施(月2回実施) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月実施分を中止とした。	H29 13.8%	12.2%	14.5%	C	■歯科指導を個別で行うことで、個人に沿った指導をすることが出来ている。目標値を達成するため教育内容や指導内容を検討していく。
7	坂戸市	2 成人の歯科保健の推進	市民	■成人歯科健康診査受診率 <目標値>10%	■成人歯科健康診査(40・50・60・70歳の方) ・7月～R2.1月実施	H29 4.7%	7.1%	7.2%	C	■受診率向上のため、平成30年度よりハガキによる再勧奨を実施。令和元年度は実施期間を延長し微弱ながら右肩上がりの結果となっている。  ■令和2年度よりがん検診一体型の受診券として対象者に送付を行った。また、受診者には定期健診を促すチラシを作成し、実施医療機関より配布している。
8	坂戸市	3 歯科口腔保健推進事業	市民	■歯科健康教育参加者数	■歯科医師の講話 ・10月に1回実施	H29 29人	33人	17人	C	■歯と口の健康に関する正しい知識の普及啓発をより多く行うため、講話内容や周知方法について検討していく。  ■令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため申し込み定員を20名とし、募集を行う。(11月開催予定)

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
9	鶴ヶ島市	1 子ども(乳幼児・学童期)の歯科保健の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2歳児歯科健診受診率、受診者のフッ素塗布率、定期歯科健診受診率 &lt;目標値&gt;90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2歳児歯科健康診査受診率87.7% 受診者のフッ素塗布率81.4%</li> <li>■小中学校歯科保健指導15回実施、306人参加</li> </ul>	受診率85.2%	受診率88.1%	受診率87.7%	C	妊娠期からのむし歯予防のための歯科保健指導を強化していく。
10	鶴ヶ島市	2 成人期・高齢期の歯科保健の推進	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯周病検診受診者数の増加、30~40代の受診者割合の増加</li> <li>■歯周病検診受診者数</li> <li>■30~40代の歯周病検診受診割合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■30~75歳の歯周病検診の実施 年5回123人受診 30~40代の受診者割合13%</li> <li>■歯科医師による講話 1回 29人</li> <li>■歯科衛生士による健康教育 1回 13人</li> </ul>	-	-	-	B	子育て世代、働き世代である30~40歳の歯周病検診の受診者数、受診割合の増加のため、受診しやすい検診機会を確保する。
11	毛呂山町	1 子ども(乳幼児・学童期)の歯科保健の推進	町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの歯科保健事業実施による歯科保健の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの歯科保健の推進</li> <li>・10か月児健診における歯科保健指導 年11回実施。</li> <li>・幼児健康診査における歯科健診及び歯科保健指導</li> <li>・1歳6か月児・3歳児健康診査、ほぼ毎月実施。</li> <li>・2歳児歯科健診で歯みがき指導、フッ素塗布(希望者)年3回実施。</li> <li>・歯科衛生士による歯科保健指導:町立の小学校4校・中学校2校。</li> <li>・子どものう蝕に関する情報(虫歯の本数の推移)をホームページに掲載した。</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各ライフステージにおける歯科保健対策を推進するために、関係機関との連携強化を図る。</li> <li>■歯科保健に関する知識の普及啓発。</li> </ul>
12	毛呂山町	2 成人期・高齢期の歯科保健の推進	町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成人期・高齢期の歯科保健事業実施による歯科保健の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■成人期・高齢期の歯科保健の推進</li> <li>・歯周病検診(40歳以上)及び歯磨き指導:年3回実施。(受診者 81人)</li> <li>・歯周病予防教室:年2回実施。</li> <li>・8020よい歯のコンクール周知・募集協力。</li> <li>・通いの場にて、口腔ケアに関する知識を普及。</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各ライフステージにおける歯科保健対策を推進するために、関係機関との連携強化を図る。</li> <li>■歯科保健に関する知識の普及啓発。</li> </ul>
13	越生町	1 歯科保健に関する知識の普及啓発	町民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯科保健に関する知識の普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯科保健に関する知識の普及啓発</li> <li>・健康まつりにおいて、人間郡市歯科医師会第4支部の協力を得て、口腔がん検診、フッ化物洗口、ブラッシング指導及び歯科相談を実施。</li> <li>・2歳児歯科教室、1歳6か月児健診、3歳児健診において、歯科検診・ブラッシング指導を実施。</li> <li>・幼稚園・子育て支援センターで、保健師による歯みがき講座を実施。</li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引き続き、歯科保健に関する知識の普及啓発を行う。</li> </ul>

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
14	越生町	2 歯科検診、歯周病検診の実施	町民	■歯科検診、歯周病検診の実施	■歯周病検診の実施 ・保健センターでの集団検診:40歳以上 ・入間郡市歯科医師会第4支部の協力医療機関での個別検診:40歳、50歳、60歳、70歳の方対象	-	-	-	C	■歯周病検診の受診率の向上を図る。
15	鳩山町	1 歯科健診等普及啓発事業	町民	■生活習慣改善に向けた意識変化 ■歯科保健に関する知識の普及啓発 <目標値>健康生活歯援プログラム参加者数:年間50名	■健康生活歯援プログラム(1回コース) ・口腔ケアは、心身の健康とともに生活の質を高めることにも繋がるため、これまでの生活習慣を見直し改善に向けていくための保健指導を実施。保健行動目標を設定し、参加者の意識変化を促した。 ・対象者⇒妊婦、令和元年度集団健診結果のHbA1cの値が5.6%以上の方、糖尿病性腎症重症化予防を目的とした歯科に係る取組み対象者	■健康生活歯援プログラム参加者数:34名	■健康生活歯援プログラム参加者数:41名 ※申込時点では51名だったが、当日キャンセルがあり参加者数が減ってしまった。	■健康生活歯援プログラム参加者数:46名 ・フォローアップ参加者数:26名	A	■健康生活歯援プログラム適宜、対象者選定基準を見直すことで、より効果的に取り組みたい。
16	鳩山町	2 口腔ケアの普及啓発事業	町民	■口腔機能向上	■さわやか健康教室 ・高齢期の口腔ケアは、生活習慣病の予防改善に加え、フレイル予防・介護予防にもつながる。そのため、認知症や糖尿病等全身疾患との関係、オーラルフレイル、口腔内を衛生的に保つ必要性とその方法等に関する内容等、一般介護予防事業としての上記教室のプログラムにおいて、歯科衛生士による講座(1回)を実施した。 参加者数:32人  ■はあとふるパワーアップ教室 ・フレイル予防の観点から、栄養講座と併せて口腔機能の維持・向上の必要性等について講座内容に取り入れ実施した(栄養講座を2回実施)。 参加者数:延べ29人	-	-	-	A	■繰り返し学ぶことで知識やケアの方法を身につけ、自分の生活の中に取り入れることができる。今後も一般介護予防事業及び介護予防と保健事業の一体化事業等において、庁内関係課と連携するとともに事業展開等協議し、引き続き取り組みたい。
17	鳩山町	3 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化	町民	■対象者をサービスに繋げる	■比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療事業 ・寝たきり等の事情により、歯科医院受診困難者を対象に、訪問歯科診療を行うもの。 ・管内市町村が協定を締結し、比企郡市歯科医師会に委託しているが、その経費を負担している。 全利用者数:実人数 62人、延べ 265人 うち鳩山町利用者数:実人数 7人、延べ 47人	-	-	-	A	■構成市町村における事業利用率の向上を目指し、関係機関等への周知を強化する。
18	東松山市	1 2歳児歯科健診	2歳6か月児	■健診受診率の維持	■歯科健診、指導、フッ化物塗布を実施 ・健診受診率:H30年度 96.1% R元年度 92.3%	-	96.1%	92.3%	B	■フッ化物の継続的応用の重要性について周知を図る。



整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)							今後の事業展開・課題等	
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移				自己評価 (A~D)
						計画当初	H30	R1		
19	滑川町	1 幼児健診における歯科検診、 歯科保健指導の実施	幼児	■実施回数・対象者 への知識普及 <目標値> 2歳児歯科健診年6 回他健診各年12回 実施	■10か月児健診：歯科医師による歯科講話(年12回) ■1歳6か月児健診：歯科検診・歯科保健指導(年12 回) ■2歳児歯 科検診：歯科検診・歯科保健指導(年6回) ■3歳児健診：歯科検診・歯科保健指導(年12回)	■実施予定回 数：2歳児歯科 健診年6回・他 健診各年12回	■実施回数：2 歳児歯科健診 年6回・他健診 各年12回 * 全数へ児の 発達段階に応 じた情報を提 供。	■実施回数：2 歳児歯科健診 年6回・他健診 各年12回 * 全数へ児の 発達段階に応 じた情報を提 供。	A	■今後も同様の事業を継続していく。
20	滑川町	2 フッ化物塗布事業の実施	幼児	■実施回数・対象者 の予防意識の向上 <目標値> 2歳児歯科健診にて 年6回・健康フェス ティバル年1回、フッ 化物塗布事業実施。	■2歳児歯科検診(年6回)と健康フェスティバル(年1 回)で歯科保健指導と併せて希望者へフッ化物塗布 を実施。併せて歯科保健指導を実施した。	■実施予定回 数：2歳児歯科 検診(年6回)・ 健康フェスティ バル(年1回)	■実施回数：2 歳児歯科検診 (年6回)・健康 フェスティバル (年1回) * フッ素塗布・ 歯科保健指導 の実施により、 予防意識向上 につながって いる。	■実施回数：2 歳児歯科検診 (年6回)・健康 フェスティバル (年1回) * フッ素塗布・ 歯科保健指導 の実施により、 予防意識向上 につながって いる。	A	■今後も同様の事業を継続していく。
21	滑川町	3 成人歯科検診(歯周病検診) の実施	町民	■実施回数と対象者 の予防意識の向上 <目標値> 成人歯科検診年1回	■成人歯科検診：広報で周知。20歳以上の希望 者。歯周病検診に口腔衛生指導を併せて実施。(年1 回)	■実施予定回 数：年1回	■実施回数： 年1回(H30年 度実績17名) * 健診後の口 腔衛生指導で の、結果の解 説と歯磨き指 導が意識向上 につながって いる。	実施者数：20 人	A	■今後も同様の事業を継続していく。周知 方法を工夫し、歯周病のハイリスクにアプ ローチして予防意識を高める。
22	嵐山町	1 歯科検診の実施	1歳6か月児 3歳児	■受診率 ■う歯罹患率	■幼児健診における歯科検診の実施 ・1歳6か月児健康診査：受診率(100%)、う歯罹患率 (0.0%) ・3歳児健康診査：受診率98.3%、う歯罹患率 (11.4%)	3歳児う歯罹患 率：10%	13.6%	11.4%	B	■3歳児のう歯罹患率を上げないよう1歳6 か月児健診で個別に指導していく。
23	嵐山町	2 歯科保健指導及び歯科教室 の実施	9~10か月 児 1歳6か月児 3歳児 高齢者	■集団歯科指導(9 ~10か月児) ■個別指導の実施 (1歳6か月児、3歳 児) ■介護予防教室等 における口腔講座の 実施	■乳幼児健診における歯科保健指導・教室の実施 ・9~10か月児(集団歯科指導の実施) ・1歳6か月児(個別指導・フッ化物塗布) ・3歳児(個別指導・フッ化物塗布) ■町の介護予防事業や通いの場において歯科衛生 士による口腔講座の実施	-	-	-	A	■3歳児のう歯罹患率を上げないよう1歳6 か月児健診で個別に指導していく。 ■歯科衛生士を地域に派遣し、口腔ケアの 必要性を啓発していく。
24	嵐山町	3 地域の歯科保健医療サービ スの情報提供	寝たきりま たはそれ に準ずる方	■利用者数	■比企保健医療圏寝たきり者歯科保健医療事業を 利用 ■周知 ・ホームページ	-	実2人 延14人	実3人 延18人	C	■利用者が少ない。利用者の増加を図るた め、関係機関に周知していく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
25	小川町	1 乳幼児歯科検診及び歯科指導	町民	■乳幼児歯科検診・歯科保健指導受診人数	■幼児歯科検診・歯科保健指導の実施;1歳6か月児:105人、2歳児100人、3歳児123人。	-	-	-	B	■フッ素塗布を1歳6か月児健診・2歳児健診・3歳児健診の全幼児歯科検診で実施し、虫歯予防を強化する。
26	小川町	2 歯科口腔保健推進	町民	■歯科保健事業の取り組み	■広報による啓発、PTAを通じて歯ブラシセットの配布(1663セット配布)、自殺対策と一緒に歯ブラシセットを配布、健康講演会では歯科保健について講演実施(参加者46名)	-	-	-	B	■歯科保健推進の普及啓発(広報等で歯科保健に関する情報の掲載、歯科保健グッズの配布) ■歯科検診の実施
27	小川町	3 介護予防・生活支援サービス	65歳以上の方で事業対象者又は要支援認定者	■教室参加への取組み	■介護予防教室の中で実施(元気アップ教室)。歯科衛生士による口腔指導を行う。(令和元年度実績:4回実施、延べ40人参加)	-	-	-	B	■介護予防教室で歯科衛生士による口腔指導を実施。(オーラルフレイル予防)
28	川島町	1 歯科保健に関する知識の普及啓発	町民	■歯科保健に関する知識の普及啓発	■かわべえ健康大学の実施 ・「実はつながる!?歯とカラダ 知って得する!健口習慣」、講師:歯科医師 ・参加者数:51人	-	-	-	B	■歯科保健に関する知識の普及啓発
29	川島町	2 成人歯科健診・成人歯科保健指導事業の推進	町民	■成人歯科健診・歯科保健指導の受診者数増加	■成人歯科健診・成人歯科保健指導事業の実施 ・7月2回実施、受診者数:38人	-	-	-	B	■成人歯科健診・歯科保健指導事業の普及啓発と受診者数の増加
30	川島町	1 フッ素塗布事業等の実施	町民	■幼児の虫歯罹患率の減少	■フッ素塗布事業等の実施 ・1歳6か月児健診:歯科健診、個別歯科保健指導(受診率:96.3%、虫歯罹患率:0%) ・2歳児健診:歯科健診、フッ素塗布及び個別歯科保健指導(受診率:98.1%、虫歯罹患率:3.9%) ・3歳児健診:歯科健診(受診率:98.5%、虫歯罹患率:20.9%) ・町立保育園、町立小中学校においてフッ化物先口の実施	-	-	-	B	■幼児の虫歯罹患率の減少
31	吉見町	1 乳幼児期・学齢期の歯科口腔保健の推進	町民	■①3歳児健診で1人当たりのむし歯の本数の減少 ■②12歳児1人当たりの永久歯のむし歯の本数の減少	■フッ化物塗布事業の実施 ・3歳児まで保健センターでのフッ素塗布、町内保育所及び幼稚園並びに小中学校でのフッ化物洗口を実施。これらの活動により①3歳児のむし歯本数が平均2.76本(平成17年度)から0.39本(令和1年度)に減少し、②12歳児のむし歯本数が平均2.49本(平成17年)から平均0.62本(令和1年度)にまで減少している。	①0.43 ②0.26	①0.46 ②0.66	①0.39 ②0.62	B	■むし歯予防についての周知啓発等を強化し取り組んでいく。

整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)							今後の事業展開・課題等	
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移				自己評価 (A~D)
						計画当初	H30	R1		
32	吉見町	2 成人期・高齢期における歯科口腔保健の推進	町民	■過去1年間に歯科健診を受診した者の割合の増加	■成人歯科健診の実施 1回(2日間) -町の特定(集団)健診の日に併せて、2日間歯科健診を実施。(受診者数H29年度102人、H30年度116人、令和1年度112人) ■妊娠中、育児中の父母を対象にした健診の実施 3回 -『パパママ歯科健診』として、妊娠中または育児中の父母を対象に歯科健診、歯周病予防のアドバイス等を年3回実施。(受診者数H29年度16人、H30年度9人、令和1年度16人)	66.7	60.5	-	B	■ライフステージ毎の歯科口腔に関する周知啓発を強化し取り組んでいく。
33	吉見町	3 口腔ケアの普及啓発	町民	■生活歯援プログラム等の参加者の増加	■生活歯援プログラム等の実施 -標準的な成人歯科健診プログラム、保健事業マニュアルを実施。また、ボランティア団体の〇8(よいは)の会及び比企郡市歯科医師会等と協力し、歯と口の健康相談やブラッシング指導を実施。(参加者数H29年度165人、H30年度169人、令和1年度152人)	-	-	-	B	■ボランティア団体及び比企郡市歯科医師会等と連携を強化し、生活歯援プログラムの参加者数の増加に向け、実施拡大等を検討していく。
34	ときがわ町	1 乳幼児健診における歯科検診、歯科指導	町民	■むし歯保有率の減少	■歯科検診 -10か月健診：歯科衛生士による指導 -1歳6か月健診：歯科検診、歯科指導、歯科医師による講話 -2歳6か月健診：歯科検診、歯科指導 -3歳児健診：歯科検診、歯科指導	-	-	-	B	■乳幼児期の歯の健康な歯の育成及び大人のむし歯保有率の減少
35	ときがわ町	2 よい歯の教室	町民	■口腔ケアの普及啓発	■よい歯の教室 -対象：1歳6か月～9歳位まで年3回実施(7月、12月、3月) 内容：歯科検診、ブラッシング指導、フッ素塗布、健康教育	-	-	-	B	■乳幼児期及び学齢期の健康な口腔状態の維持の推進
36	ときがわ町	3 高齢者の歯科教室	町民	■オーラルフレイルへの理解	■介護予防事業での歯科指導 -介護予防サポーター講座での歯の健康に関する研修会を実施	-	-	-	B	■健康講演会等を開催し、歯科口腔ケアの大切さや食生活の改善について理解を深める
37	東秩父村	1 よい歯のコンクール「母と子部門」「8020部門」、ヘルシー教室(歯科医師の講話、歯科衛生士によるエプロンシアター等)	乳幼児と保護者、8020対象者	■適切な歯科口腔環境づくりへの動機づけ	■よい歯のコンクール後、東松山保健所管内「歯の健康まつり」(比企郡市歯科医師会主催)に参加。	-	-	-	A	■保健センターが担う役割を関係機関と確認をしながら、事業を継続していく。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
38	東秩父村	2 乳幼児健診における歯科検診、歯科指導、歯科相談(おはなしの部屋)、保育園児歯科健診	乳幼児と保護者、保育園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>■幼児の虫歯予防</li> <li>■保護者の意識啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■乳幼児健診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の生え始めた6~7ヶ月児から歯科検診・指導を実施。また、1歳6ヶ月児からフッ化物塗布を実施している。乳幼児歯科相談においては、歯みがき指導、フッ化物について解説、勧奨。歯周病予防の指導を実施している。また、保育園健診時に親が希望する全児にフッ化物塗布。</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保健センターが担う役割を関係機関と確認をしながら、事業を継続していく。</li> </ul>
39	東秩父村	3 健診結果説明会において歯科衛生士による「生活歯援プログラム」の実施	健診結果説明会参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯科口腔保健に対する住民の意識の変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯科衛生士による「生活歯援プログラム」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果説明会において特定保健指導対象者の利用率を伸ばすため、説明会参加者に歯科衛生士による「生活歯援プログラム」を実施。</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■保健センターが担う役割を、多職種、関係機関と確認をしながら、事業を継続していく。</li> </ul>
40	坂戸鶴ヶ島医師会	1 地域における歯科保健医療サービス提供のための連携強化	医科・歯科関係機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市町村職員・歯科医師会連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■訪問歯科は大きな課題であり、往診医、訪問歯科医も地域包括ケアシステム推進協議会を通じ、積極的に連携を図り活動している</li> <li>■歯科医師会と連携し骨粗鬆症治療における医科歯科連携を実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医科歯科連携講演会開催(H31.4.19) 参加者45名</li> <li>「骨粗鬆症治療の必要性と薬剤顎骨壊死の存在と医歯薬連携のポイント」</li> <li>沖本クリニック 院長 沖本信和先生</li> <li>・ARONJ(骨吸収抑制薬関連顎骨壊死)予防のための連携用紙をホームページに掲載し医科歯科連携を実施</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯科医師会と情報の共有を図り、連携をさらに進める。</li> <li>■引き続き医科歯科連携用紙等を活用し情報共有強化</li> </ul>
41	川越市歯科医師会	1 休日歯科診療事業、高齢者・障害者の福祉の推進を目的とする事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■川越市予防歯科センターでの休日歯科診療の実施</li> <li>■社会福祉施設の利用者の歯科健康診査・歯科疾患予防のための歯科保健知識の普及、啓発活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■川越市予防歯科センターで日曜日、国民の休日、年末年始に休日歯科診療を行った。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数:192人</li> </ul> </li> <li>■社会福祉施設の利用者の歯科健康診査を行うとともに、歯科疾患予防のための歯科保健知識の普及、啓発活動を行った。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診者数:337人</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■歯科疾患及び口腔機能低下のため、地域における歯科保健医療の充実に努める。</li> </ul>
42	川越市歯科医師会	2 学校歯科健診事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小学校一年生、中学校一年生に対する歯科保健指導の実施</li> <li>■保健主事、養護教諭に対する学校歯科保健指導者研修会への講師派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■川越市歯科医師会会員が毎年10月~12月末まで小学校一年生、中学校一年生に対しDVDやパワーポイントを使って歯科保健指導を行った。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会会員従事者数:122人</li> <li>・参加者数:5,839人</li> </ul> </li> <li>■保健主事、養護教諭に対し行っている学校歯科保健指導者研修会に講師を派遣した。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会会員派遣人数:1人</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>■う歯等の歯科疾患を予防するために、歯や口腔の健康に関する正しい知識を持てるよう普及啓発に努める。</li> </ul>

整理番号	実施機関	計画期間：平成30年度(2018年度)から令和5年度(2023年度)							今後の事業展開・課題等	
		関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移				自己評価 (A~D)
						計画当初	H30	R1		
43	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	1 歯と口の健康フェア	県民	■歯と口の健康フェアの開催	■鶴ヶ島市保健センターにおいて歯と口の健康フェアを開催した。来場児童にフッ化物塗布、また成人を含め口腔健診(口腔ガン検診を含む)の実施。坂戸・鶴ヶ島両市小学校から募集した「むし歯予防ポスター展」を行った。 ・H29年度来場者 780名 H30年度来場者 994名 R元年度来場者 958名	-	-	-	A	■来場者の増加に伴いフッ化物塗布、口腔健診の受け入れ人数の増加の必要あり。
44	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	2 8020よい歯のコンクール	坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町在住の80歳以上の方	■8020よい歯のコンクールの開催	■第27回8020よい歯のコンクールの開催 ・13名の応募者の口腔審査を行い、後援両市市長、保健所長を迎えて表彰式を行った。 ・H29年度応募者28名 H30年度応募者20名 R元年度応募者13名	-	-	-	B	■対象地域に対する周知を強化し、より多くの方に8020達成を目指してもらえるように啓蒙を図る。
45	坂戸鶴ヶ島 歯科医師会	3 就学時健診時の歯科講話	就学児童の保護者	■就学時健診時の歯科講話の開催	■坂戸市・鶴ヶ島市就学時健診時に保護者に対しての歯科講話の開催 ・就学児童の保護者に対して歯科保健に関する知識を普及啓発し、むし歯予防を行うとともに口腔清掃技術を指導した。 ・H29年度 9校、626人 H30年度 7校、425人 R元年度 8校、637人	-	-	-	坂戸市 B 鶴ヶ島市D	■永久歯の萌出し始める時期に生活習慣をからむし歯予防を行うことの必要性を説明し、口腔状態の向上を推進する。
46	比企郡市歯 科医師会	1 地域住民への歯科口腔保健に関わる啓発活動	地域住民	■歯科口腔保健の普及啓発	■地域住民への歯科口腔保健に関わる啓発活動 ・第24回「歯の健康祭り」来場者384名 スタッフ81名 ・歯科健診、歯科相談、フッ化物歯面塗布の他、各種イベントを通して、口腔内の健康の重要性について有用な情報を提供し、地域住民の口腔内の健康への関心、意識の向上に寄与できたと考える。 ・歯科口腔保健に関わるコンクールの実施「むし歯予防ポスターコンクール」「親と子のよい歯のコンクール」「8020よい歯のコンクール」 ・全ての年代層に対して、生涯にわたる歯と口腔の健康の重要性について周知、啓発	-	-	-	A	■「埼玉県歯科口腔保健の推進に関わる条例」に基づき策定された「埼玉県歯科口腔保健推進計画」に掲げられている各施策の実施、指標達成に向けて、比企郡市管内の各市町村と協力して推進していく必要があると考える。

整理番号	実施機関	関連施策	対象	評価の指標	主な取組状況・成果 (令和元年度)	目標値と実績値の推移			自己評価 (A~D)	今後の事業展開・課題等
						計画当初	H30	R1		
47	比企都市歯科医師会	2 ライフステージごとの歯科口腔保健の推進	地域住民	■ライフステージごとの歯科口腔保健の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■乳幼児期                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1.6歳児、3歳児歯科健診(法定)及び2歳児歯科健診等の実施</li> <li>・幼稚園、保育所における歯科健診等の実施</li> <li>・住民(乳幼児・小児の保護者)を対象とした歯科講話の実施</li> <li>・乳幼児期のお口の健康づくりが生涯にわたっての健康維持につながることを普及啓発。</li> <li>・東松山市子育て支援センター歯科講話(R1・年1回)</li> <li>・滑川町10ヶ月児健診歯科講話(H30・年10回/年)</li> <li>・吉見町子育て支援センター〇8の会サマーイベント(R1・年1回)</li> </ul> </li> <li>■学童期                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校、高校における歯科健診、歯科保健教育活動等の実施</li> <li>・フッ化物洗口</li> <li>・埼玉県小児う蝕予防対策事業の実施</li> <li>・子供の健口支援事業(学習支援教室小川町会場における歯科健診、保健指導、フッ化物洗口)の実施</li> <li>・埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づき設定。比企都市管内市町村における健康格差是正を目的に、科学的根拠に基づくフッ化物応用(フッ化物洗口)の実施を推進。</li> </ul> </li> <li>■成人期                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦歯科健診、保健指導、保健教育の実施(東松山市)</li> <li>・歯周疾患検診の実施(東松山市、川島町、滑川町、吉見町)</li> </ul> </li> <li>■高齢者・要介護者                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔機能の向上ならびに口腔衛生状態の改善を促し、歯と口腔の健康維持が全身の健康増進につながり、健康寿命の延伸につながることを啓発。</li> <li>・東松山市総合福祉エリア地域支援包括センターの一次・二次予防事業として高齢者を対象に、市内一地区において歯科講話ならびに歯科相談を実施。</li> </ul> </li> </ul>	-	-	-	A	<p>■「埼玉県歯科口腔保健推進計画」に基づく「埼玉県小児う蝕予防対策事業」において、今後も比企都市管内の市町村での科学的根拠に基づくフッ化物応用(フッ化物洗口)の実施されるよう、対象市町村教育委員会をはじめ学校歯科医等による小学校への訪問・説明及び科学的根拠に基づく情報提供や継続的なサポートを行っていく必要がある。</p>
48										